（ 様式　6 ）

富山県看護連盟 支部研修会報告　支部名　6支部合同

（研修会終了後一週間以内に参加者名簿と一緒に提出）

区　分	内　　容
研修会名	富山県看護連盟富山6支部合同研修会
研修の目的 ねらい	看護連盟の役割を理解し、看護と政治のつながりを学ぶ
開 催 日	平成　30　年　12　月　15　日　（　土　）　　9 :00　～ 11　:30
会　　場	富山県看護研修センター　第３研修室
主　　催	富山県看護連盟西１,2支部
対 象 者	看護連盟会員、賛助会員、非会員
参加者数	94名　富山市民病院21名・富山赤十字病院14名・県立中央病院9名・県リハビリテーション病院11名・済生会富山病院13名・城南温泉第２病院3名・西能病院1名・西能みなみ病院1名・みどり苑2名・不二越病院3名・流杉病院４名・富山県立総合衛生学院1名・富山市立看護専門学校1名・富山西総合病院3名・富山西リハビリテーション病院3名・八尾総合病院1名・谷野呉山病院1名
研修方法	(講演)　解説・説明　グループワーク　意見交換 提言　(実技)　他（　　）
内　容	1. 三谷会長講演 看護連盟は私たちの代表を国会に送る、参議院選挙で議員を送り出すことが目標である。人確法により看護大学が増え、看護関連法案の成立により、看護の環境は変化している。現在、看護連盟会員は減少しており、代表をを送り出すには、仲間が必要となってくる。患者と向き合い、いきいきと働いていくには法の改正が必要になるため、仲間を増やしていこう。 看護連盟ホームページのアンケートへの協力 ナスレ（ライン）の登録 石田まさひろを応援する会への入会のお願い ２．癒しのハーバリウム　　藤牧先生 参加者それぞれが、自分の好みの花を選び、指導の下、ハーバリウムを作成した。短い時間だったが無我夢中で取り組めた。
特記事項	

提出日　　30年　　月　　日

提出者　　吉崎　寿美

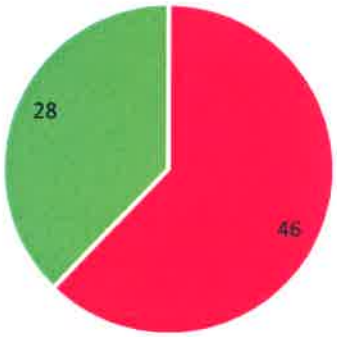
資料添付　　有　　無

平成30年度　富山県看護連盟6支部合同研修会報告

日時:平成30年12月15日（土）9:00～11:30
場所:富山県看護研修センター　2階第3研修室
内容:講演「看護連盟の現状と課題・続基礎研修」
　　講師　富山県看護連盟会長　三谷　順子
　　体験「癒しのハーバリウム作り」
　　講師　日本フラワーデザイナー協会インストラクター
　　藤牧　由香先生

研修参加者94名（役員含む）アンケート74枚回収率78％

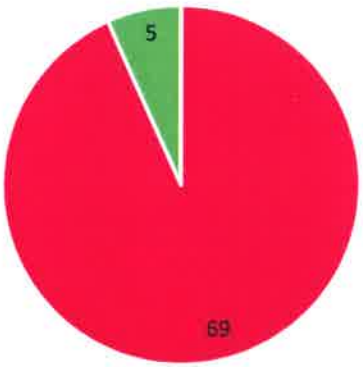
1．看護連盟の役割について



・わかりやすかった
・会長の講演でさらに理解できた
・選挙の大切さを学んだ
・元気が出た
・得票数の大切さがわかった
・看護をよりよくするためには看護職を政治に送ることが必要だと思った
・今まだ連盟の現状に目を向けていなかったが理解することが出来た
・野上さんのこともわかった
・看護の課題を解決するために、国政への働きかけが必要だとわかった
・現場をよくするためには、政治力外貨に大切か知れた

2．癒しのハーバリウム作り

・癒された
・初めてで楽しかった
・素敵に仕上がった
・気分転換になった
・買うと高いので作れてよかった
・やりたいと思っていてのでよかった
・いろんな種類があってよかった
・自宅で飾れるのが良かった
・花に触れる機会が少ないから癒された
・集中できた
・普段の業務を忘れ、楽しめた
・クリスマス前の企画でよかった



3．今後どのような研修を希望されますか？
〈開催時期や内容について〉

・12月は忙しい時期だと思う
・平日にしてほしい
・土曜日のAM半日は参加しやすい
・心や身体が癒されるもの
・アロマ
・今はやりのもの作りは楽しい〈レジンアクセサリーなど〉
・連盟を身近に感じられる研修
・連盟の話の後、ハーバリウムの講座が受けれると参加したくなるので継続してほしい
・看護について楽しく語るようなイベント
・精神科看護・がん看護・看取り・認知症・不穏患者の看護など

4．ご意見・ご希望
・役員の方、お疲れ様でした。
・リフレッシュになった
・パワポが見えづらかった。照明の調整が必要か
・講演だけでなく、ハーバリウムのようなイベントがあると楽しみも増えると思う
・看護協会と看護連盟の違いを知る良い機会でした
・政治の話が多い
・研修は時間通りに進めてください

三谷会長の熱い講演は
みんなの気持ちを
動かします！

自分たちの好きな色味を
選んで、真剣に作りました。
一つ一つもきれいですが
いくつも揃うとさらに美しいですね。